

製品化希望の多かった低屋根の中間電動車ユニット登場!!

α-model (アルファモデル)

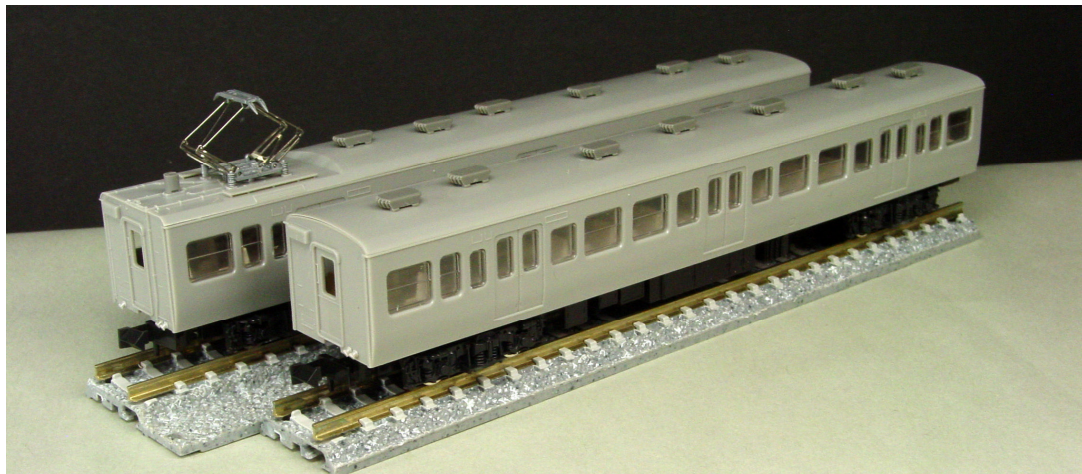
<新製品>

■Nゲージ車体キット No.2114

国鉄 115 系中間電動車・モハ 114 (818～831)

国鉄 115 系中間電動車・モハ 115 (94～107)

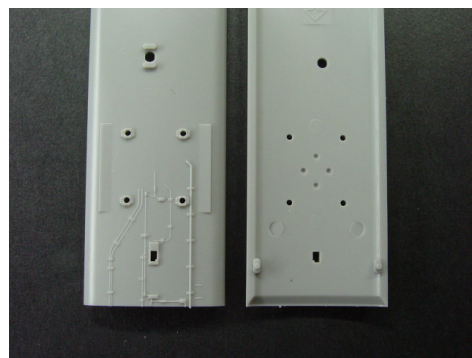
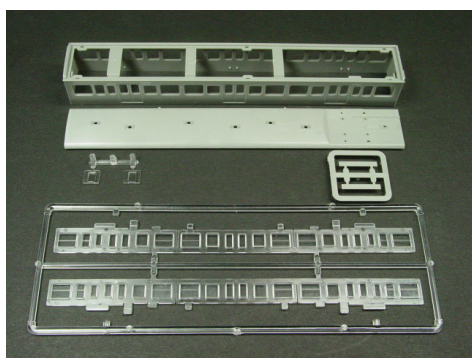
(プラー一体成形・未塗装車体キット各 1 輛入り) 定価 3,700 円 (税別)



※好評発売中の α-model No.2108 のモハ 114-800 と、No.2112 のモハ 115 を組み合わせたセットです。

バリエーションに富んだいろいろな編成を作って、お楽しみください。

▲キットを組んだ状態／押込形通風器と客ドアの手掛け、車体裾のドアコック位置などが 115 系の特徴です。
(注：写真は組立例です。別売りの KATO 製 115 系下回り・パンタグラフ、TOMIX 製屋上通風器・避雷器、α-model 製ジャンパ栓納めなどを組み込んでいます。※製品には上記部品は付属しません。)



▲キットの構成／プラー一体成形の車体。部品点数が少ないのでゲート部の処理ですぐに塗装工程に入れます。

▲115 系の特徴である客ドア「手掛け」はシャープなモールドで表現。室内側の手掛けの逃げも凸モールドで再現。

▲モハ 114 のパンタグラフ取付穴は KATO、TOMIX、GM 製品に対応。屋上の各種配管・配線も的確に再現。

<製品の特徴>

- ①プロトタイプ：信越本線向けに横軽対策車として増備されたモハ 115、モハ 114-800 を模型化。非冷房、非ユニットサッシ、羽根つきの押し込み型通風器などオリジナルの形状を余すことなく模型化。(パンタグラフ、通風器などは別売)
- ②客ドア部の手掛け：冬季の半自動ドア扱いの際に使用される「手掛け」はシャープなモールドで再現。
- ③複数社の製品流用に対応：流用する下回りは KATO 製、TOMIX 製の 113 系、115 系のいずれも装着可能。
- ④車体は一体成形：側面・妻板をプラスチック一体成形。面倒な組立、接着、調整が不要。
- ⑤無駄な付属パーツを一切無くし、安価な普及価格を設定。キット組立・塗装入門用や、大量増備・改造ベースに最適!!

※キットは車体のみです。台車、床下機器、床板、室内などは付属しません。別途他社製パーツをご用意ください。

<実車解説・115系>

115 系は高崎・上越線、東北線における通勤ラッシュ対策として 1963 年から投入された片側 3 扉の近郊型直流電車です。111 系をベースに主電動機を 120kw の MT54 形に変更し、仕様線区に合わせて耐寒対策装備となったことが特徴です。車体色は 111 系と同様の湘南色ですが、系列の識別のために正面の塗り分けが変更されました。

新製当初は宇都宮運転所に配置され、東北線、上越線などで基本編成 8 両＋付属編成 4 両で運転し、しだいにローカル運用から通勤路線にいたるまで運用線区を広げていきました。また、中央東線用として編成単位を最小化するためクモハ

115 と、小トンネル断面に対応するためパンタグラフ部が低屋根構造のモハ 114-800 番代、サハ 115 が製造されました。
 その後 115 系は、冷房付の 300 番代、シートピッチ拡大、耐寒耐雪強化した 1000 番代や、耐寒耐雪を省略した 2000 番代、2600 番代、2 扉変換クロスシート車の 3000 番代など長期に渡り増備され、広範囲で運用されています。

<製品解説・モハ 114-800、モハ 115>

本製品は横軽対策車(国鉄信越本線の横川・軽井沢間の碓氷峠通過対策として、台枠や連結器の強化などが施されている車輛)として、1966(昭和 41)年及び、1968(昭和 43)年に 14 ユニット製造されたモハ 114-800 とモハ 115 の組み合わせをモデル化したものです。(ただし厳密には 1966 年製のモハ 114-831 とモハ 115-107 は側扉がステンレス製となり手掛けが小型化されています。) 新製後に小山電車区(北ヤマ)に配置されましたが、小断面のトンネル対応の低屋根車でありながら中央東線用の三鷹電車区(西ミツ)への配属はされず、1979(昭和 54 年)には大部分が御殿場線用として沼津機関区(静ヌマ)に転属しました。1984 年には短編成化のためにモハ 115 を先頭車改造しクモハ 115-500 とし、クハを含めた 3 両編成で運用され、1986 年には静岡運転所(静シス)に移管されました。老朽化のため廃車が進み、2012 年現在、モハ 114-800 番代のユニットとしてはモハ 114-827 とモヤ 115-6(元モハ 115-103)が豊田車輛センター(ハトタ)の訓練車として配置されているのみとなっています。

模型は非ユニットサッシで窓 R が特徴の側面客窓や、客ドア部の手掛け、羽根つきの押込形通風器装備の非冷房仕様といった新製時の原形タイプとしています。さまざまな編成のバリエーションをお楽しみください。

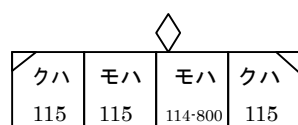
クーラーや側面の電動方向幕を追加して「冷房改造車」にしたり、他の先頭車運転室部分と切り継ぎクモハ 115-500 に改造するなど改造用のタネ車としても有用なキットです。

<編成例>

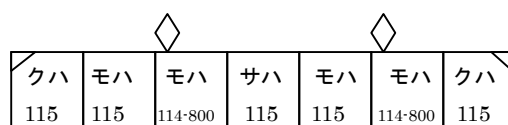
■1966 年登場時 東北本線、高崎線 基本+付属編成<小山電車区>

←黒磯・日光・前橋・水上

上野→



<付属編成>



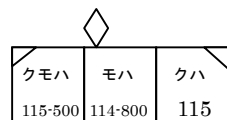
<基本編成>

(車体色/湘南色)

■1986 年～ 御殿場線 3 両編成<静岡運転所>

←黒磯・日光・前橋・水上

上野→



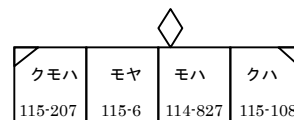
<基本編成>

(車体色/湘南色)

■1995 年～ 訓練車<豊田電車区>

←東京

高尾→



<基本編成>

(車体色/横須賀色)

<別途購入・入手が必要な部品>

- ・パンタグラフ/PS16・各社製品 (×1 個)
- ・ベンチレーター・押込形(平タイプ)<PB-101/TOMIX 製>(×13 個)
- ・避雷器/LA17<PR-002/TOMIX 製>など (×1 個)
- ・ジャンパ栓納め/KE58 ジャンパ栓納め<No.231/α-model> (2 セット)
- ・下まわり/モハ 114、115 あるいはモハ 112、113 <KATO 製品、TOMIX 製品>

<115 系車体キット好評発売中>

①No.2106	クハ 115 (2 両セット)	未塗装車体キット	3,885 円(税込)
②No.2108	クモハ 115+モハ 114-800(低屋根車)	未塗装車体キット	3,885 円(税込)
③No.2110	サハ 115 (2 両セット)	未塗装車体キット	3,885 円(税込)
④No.2112	モハ 115+モハ 114(普通屋根車)	未塗装車体キット	3,885 円(税込)

<111 系車体キット好評発売中>

No.2100	クハ 111 (2 両セット)	未塗装車体キット	3,885 円(税込)
No.2102	モハ 110+モハ 111	未塗装車体キット	3,885 円(税込)
No.2104	サロ 110、111 (2 両セット)	未塗装車体キット	4,830 円(税込) ※室内・イス付属

メーカー名:  α-model [販売・製造 (有)ムラヤマ精密、(有)プライト]

[企画・監修 (β-PRODUCTS)]

ホームページ: <http://mskanagata.com/a-model>

問い合わせ先: e-mail: a-model@mskanagata.ne.jp